

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年 2月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0191000074		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ江別		
所在地	江別市緑町西1丁目110番地の1 (電話) 011-391-9331		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成22年1月29日	評価確定日	平成22年4月2日

【情報提供票より】 (平成21年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 21 年 10月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算	16.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1～2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	22,050 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (120,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当た 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (1月29日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	6 名	要介護4	6 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.1 歳	最低 72 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	たぐち内科クリニック、近藤眼科、成田整形外科、中央歯科医院、泌尿器科さいとうクリニック、友愛記念病院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成21年10月法人名を変更し、新たな出発をしたが、内容については、利用者・職員ともに変わらず、最初の設立から5周年を経過して、地域の信頼を得ながら、運営を継続しています。特に、大規模組織ですが、法人の理念の他にホーム独自の理念を掲げ、利用者本位の支援をしています。介護度の高い利用者がいますが、食事を自立で出来るように支援し、工夫した食事を提供しています。利用者職員が同一の食事をしていないなど、家庭的な配慮が十分とはいえませんが、ゆったりとした雰囲気では利用者「お客様」として尊敬されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	法人名変更後、ホームとして初めての外部評価となり、記載事項はありません。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者・管理者さらに職員全員が、十分検討した自己評価に至らず、課題を見出すまでにはなっておりません。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では利用者と職員の状況、行事や事故など資料に基づいて報告があり、出席者から質疑応答や意見交換があります。それらは、職員全員に知らされ、運営に活かす取り組みをしています。災害対策への協力にむけて進展が見られます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月通信を発行して利用者の暮らしぶりを報告しています。家族からは意見箱の利用はありませんが、面会時に気軽に話せる雰囲気作りをしています。また、行事の時には家族への呼びかけをして参加を促しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームとして町内会に加入し、町内会行事に参加可能な利用者は温泉旅行に行ったり、町内会館の清掃作業に協力して良好な関係にあります。また、傾聴ボランティアの来訪があります。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念のほかに、ホーム独自に「元気で・楽しく・のんびりと・地域と共に末永く」と分かりやすい理念を作成しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝夕の申し送り時に、法人の理念とホーム理念を唱和し、実践に努力しています。また室内や通信に掲示し、会議等で取り組みの具体化についても検討しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームとして町内会に加入し、町内会行事に参加可能な利用者は温泉旅行に行ったり、町内会館の清掃作業に協力して良好な関係にあります。また、傾聴ボランティアの来訪もあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム開設から5年が経過していますが、その間法人の変更などで今回が初回の評価となりました。時期的に多忙時で、職員全体としては時間不足で、周知徹底に至らず、自己評価に取り組む課題が確認できませんでした。	○	運営者、管理者、さらに職員全員で、自己評価・外部評価を実施する意義を確認し、取り組みの課題の共有化を期待します。

江別市 ニチイのほほえみ江別

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域住民代表・利用者家族・地域包括支援センター職員が出席して、ホームの報告のみならず、種々の意見交換があり、相互に理解が深まっています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは日常的に連携を図り、サービスの向上に向けて努力しています。さらに、地域ケア連絡会議などで行政の指導もいただいています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へは、毎月通信を発行し、利用者の暮らしぶりが分かるように報告しています。さらに、個人別に担当職員がコメントを記載して状況が分かるようにしています。金銭の報告も毎月知らせています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関に意見箱を設置していますが、利用は見られません。法人として早い時期にアンケートを実施の予定で家族の意見を求めています。面会時は気軽に話し合いをしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は極力控えるようにしています。利用者には影響がないように、他の職員がカバーし支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修については、法人で計画的に実施していますが、継続研修については、管理者や部門別で開催しています。外部研修の参加やホーム内独自の研修は若干不足しています。	○	ホームとして、職員の育成に重点を置き、課題を見出して研修の時間を設定し、学びの取り組みを今後期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム交流会に利用者と職員が参加し、交流の機会を持っています。また、会議や講座などでも交流があります。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームは利用者や家族と事前に面会や見学を重ね、職員や他の利用者と馴染めるように配慮しています。時には、すぐ入居の場合があり、雰囲気に馴染むように支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者にとってホームが居心地の良い場所になるように、職員は寄り添い一緒に過ごすように努力しています。職員は若い人が多く、利用者にかわいがられています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居以前の生活歴や暮らしぶりを家族などから聞き取り、出来るだけ利用者の思いに添うように工夫しています。しかし、困難な場合は、利用者本位に検討しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成には、計画作成者のみならず家族や関係者、さらに利用者と話し合い、安心した暮らしが継続できるように検討しています。出来ることを見出して支援しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	作成して実施している介護計画は、ミーティングで話し合い、3ヵ月毎に新たに作成しています。状態に変化があったときは直ちに見直しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院介助をはじめ、理美容院の引率、家族の外泊支援など柔軟な支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用開始以前からのかかりつけ医師との連携を重視して、適切な医療が受けれるように支援しています。2月からは、往診の医師を確保して、さらに充実するように取り組む予定です。週1回の訪問看護師の来訪も定期的に実施しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとして「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、利用者と家族に説明し同意をいただいています。なお、その都度話し合いをして取り決めることにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者や職員の間では、利用者は「お客様」として尊厳をもって対応しています。プライバシーへの配慮についても職員間で会議などで検討しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしては日課があり、食事時間など取り決めていますが、強制することなく、一人ひとりのペースを大切に支援をしています。		

江別市 ニチイのほほえみ江別

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	法人から栄養士作成の献立表が届きますが、一日の食事は、利用者の楽しみとなるように献立の変更をして、利用者の好みに配慮しています。職員は利用者と共に食事をしていません。	○	グループホームにおいて利用者と一緒に食事をする意義を検討し、工夫し、今後の改善の取り組みを期待します。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や状況に合わせて、概ね週2回を目途に入浴を支援しています。また、身体状況を考慮して、職員は複数で介助している場合もあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	敷地内に野菜を作って、収穫を楽しんだり、家事の協力をしたり、利用者の出来ることを見出して、体調に無理のない程度に力を活かした取り組みをしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	冬期間の外出は制限があり困難な利用者もありますが、出来る限り外出が多くなるように工夫し、支援しています。病院の外来受診も支援しています。また、ホームとして屋外行事を実施しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中施錠することなく、センサーを設置して戸の開閉が把握できるように工夫しています。また、外出には職員が同行しています。		

江別市 ニチイのほほえみ江別

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年2回、消防署の協力で避難訓練を実施していますが、地域の方々の協力体制の仕組みには至っていません。職員間の研修も十分とは言えません。	○	救命救急講習の受講や災害時マニュアルの整備、地域の方々の協力体制の確立など、取り組む課題について、今後検討することを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分量の記録など、分かりやすく個人別に記載して、不足の時は工夫して対応し、柔軟に支援し、利用者の状態に応じた配慮をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂など共有のスペースはゆとりがあって広々としています。車椅子や歩行器でも、トイレや共有スペースで十分移動が出来る広さがあり、ゆったりと過ごしています。飾り付けなどにも季節の雰囲気があります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはベッドや調度品など馴染みの品を持ち込み、利用者が居心地良く過ごしています。また、夜間は床に布団を敷いている利用者もいます。		

※ は、重点項目。